

## 第2学年技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時 平成27年11月19日（5校時）  
 学 級 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校 2年4組  
 男子20名 女子19名 計39名  
 授業者 教 諭 佐久間 久子

### 1 題材名 食品の選択と保存 （ B 食生活と自立 （2）ウ ）

### 2 題材について

#### （1）教材について

中学生は生涯の健康を支える身体をつくるためにもきわめて重要な時期である。しかし、今日の日本の食を取り巻く状況を見ると、いつでもどこでも簡単に食べられる食品が多く出回り、食欲に任せて食べる子どもも増えてきており、その影響は健康面だけでなく精神面にまで及んでいると言われている。また、輸入食品や工業製品としての食品の氾濫は、食としての本来の姿を失わせ、季節感や地域性も失いつつある。

このような食を巡る状況の中で、生徒たちに適切な食生活のあり方を学ばせ、身につけさせることは、生活の自立のためにはもちろん、生涯にわたり健康な生活を送るためにも重要なことである。特に加工食品に使用されている食品添加物については、健康に関わる様々な問題が取り上げられているにもかかわらず、それを意識して食品を選択しようとする傾向はあまり見られない。そこで、自立した消費者の一人として、食品の安全性、加工食品の表示の見方、食品添加物の種類など、常に正しい知識・情報を知ることの必要性に気づかせたい。そして、自分の食生活に応じた適切な食品の選択と購入の方法を身につけ、有害な食品から身を守り、生徒たち自身が本当に豊かな食生活を求める態度を養いたい。

#### （2）生徒について

##### ア 学習アンケート（技術・家庭科の授業について2年4組 27年6月実施）

質問事項	肯定的回答の割合（％）	
	とても	やや
1. 学習課題が明示されていますか。	29.7	45.9
2. 授業を通して、何について学習するかがわかりますか。	40.5	45.9
3. 授業での先生の説明する内容はわかりますか。	35.1	43.2
4. 授業における板書の内容はわかりやすいですか。	35.1	32.4
5. 授業中の課題や宿題の内容は、自分の力で解くことができますか。	32.4	45.9
6. 学習課題に対して振り返る活動を行っていますか。	32.4	37.8
7. 技術・家庭の授業に意欲的に取り組んでいますか。	37.8	48.6
8. 日常生活との関わりを考えながら、授業に取り組んでいますか。	29.7	56.8
9. 授業で学んできたことをこれからの生活で役立てていきたいと思えますか。	40.5	45.9

##### イ 授業の様子

生徒たちは、家庭科の中で「食」に関する学習への興味・関心が高く、授業に対しても意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、実際に食品を購入する際に注意していることを調査した結果、複数回答ではあったが「見た目」や「おいしさ」で食品を選ぶと答えた生徒がほとんどであり、「消費期限」や「値段」には注意するものの、どのような「材料」が使われているかを意識して選択すると答えた生徒は少ない。品質表示などの情報はほとんど目にしていない程度である。

そこで、生鮮食品と加工食品の学習を通して現在の食生活の問題点について考えさせることにより、自分たちの食生活のあり方を改善していこうという態度へつなげていきたい。

### (3) 指導について

私たちは日常的に食品添加物を取り続けているが、体に対してどのような影響を及ぼすかはまだ明らかにされていない部分が多い。しかし、摂取の仕方によっては発ガン性が指摘され、染色体への異常やアレルギー疾患との関わりも取りざたされている。そこで、実際に食べている食品にはたくさんの食品添加物が使用されていることに気づかせ、食品添加物の量や種類の違いのある食品を実際に見たり、触ったりして、色々な観点から比較させることで問題点について考えさせたい。そして、自分の健康を守るためには食品表示から得られる情報を活用することが大切であることに気づかせ、自分の意志決定でよりよい食品を選択していこうとする態度を養いたい。

### 3 題材の目標

- ・身近な食品に関心を持ち、用途に応じて適切に選択しようとしている。  
【生活や技術への関心・意欲・態度】
- ・身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。  
【生活を工夫し創造する能力】
- ・用途に応じて適切に生鮮食品や加工食品を選択できる。  
【生活の技能】
- ・身近な食品の品質を見分ける観点について理解できる。  
【生活や技術についての知識・理解】

### 4 題材の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
日常食の献立と食品の選び方について関心を持って学習に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	日常食の献立と食品の選び方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	食品の選び方に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	日常食の献立と食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。

### 5 指導と評価計画 (6時間)

時	学習内容	観点				評価規準
		関	工	技	知	
1	食品が口に入るまで	○			○	・食品の選択や調理の技術について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。(関) ・食品が食卓にのぼるまでの流れを説明できる。(知)
2	生鮮食品の選び方	○			○	・生鮮食品の種類や特徴について関心を持っている。(関) ・出盛り期(しゅん)の食品の特徴を説明できる。(知)
3	いろいろな加工食品	○			○	・加工食品の種類や特徴について関心を持っている。(関) ・加工食品の種類や特徴がわかる。(知)
4 本時	加工食品の表示 加工食品の選び方	○			○	・食品表示の種類(品名、原材料名、食品添加物など)を調べようとしている。(関) ・食品添加物の目的や問題点を理解している。(知)
5	保存の仕方を考える	○			○	・食品の保存方法を工夫している。(関) ・食品の保存方法を理解している。(知)
6	食品の安全と情報			○		・食品についての正しい情報を収集し、正しい選択が出来る。(技)

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

①食品表示の種類（品名、原材料名、食品添加物など）を調べようとしている。

【生活や技術への関心・意欲・態度】

②食品添加物の目的や問題点を理解している。

【生活や技術についての知識・理解】

### (2) 指導構想

食品表示から情報を読み取り、わかったことを発表させるなどして情報を共有する機会をつくり、安全で豊かな食生活を営もうとする意欲を育てたい。

### (3) 本時の評価規準

観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への指導の手だて
生活や技術への関心・意欲・態度	食品表示の種類（品名、原材料名、食品添加物など）について、実際の食品からいろいろな例を探そうとしている。	食品表示の種類（品名、原材料名、食品添加物など）を調べようとしている。	個別に具体的なアドバイスをを行う。
生活や技術についての知識・理解	食品添加物の目的や問題点、食品の選び方を理解している。	食品添加物の目的や問題点を理解している。	具体的な食品例をあげ、関連づけて考えさせる。

### (4) 本時の展開

	指導内容	学習活動	指導上の留意点及び評価 ★評価 ◎手立て
導入 10分	1 2種類のジュースを配布し、どちらを選びたいか考えさせる。  2 学習課題の設定	・2種類のジュース（無果汁と果汁入り）を比べ、見ためは同じような色でもなぜ味が違うのか考える。 ・選んだ理由を発表する。  加工食品の表示の見方を知ろう	
展開 35分	3 食品表示の読み取り  4 食品添加物の種類と用途	・品質表示がなぜ必要か考える。 ・2種類のジュース（無果汁と果汁入り）の品質表示を比べ違いを話し合う。  ・食品添加物で無果汁ジュースをつくって試飲する実験から、食品添加物の種類と用途について考える。	★食品表示の種類（品名、原材料名、食品添加物など）を調べようとしている。 ◎どこに注目したらよいか視点を与える。  ★添加物の種類と使用目的がわかる

	5 加工の際に必要な食品添加物	・食品添加物を使用することでできる加工食品はないか話し合う。	
	6 加工食品を選ぶ際には、どんなことに気をつけたらよいか	・加工食品を選ぶ際には、どんなことに気をつけたらよいかを考える。	・実際に明らかになっている体への影響を知ること、食品添加物の摂りすぎに注意する必要があることに気づかせたい。
終末5分	7 まとめ 8 次時の確認	・今後の食生活で自分ができることを考えまとめる。	◎実際に加工食品を購入する際に、どんなことに注意していきたいかを自分なりの言葉で発表させたい。

(5) 板書計画

学習課題：  
加工食品の表示の見方を知ろう

ジュースA

品質表示

ジュースB

品質表示

食品添加物を摂りすぎる不安

- ・安全性
- ・健康への不安

食品添加物が製造に必要な食品

豆腐          梅干し  
中華めん      アイスクリーム    など

※小学校での学習との関連図

